



第76回検査事業委員会（10月16日・17日）

第1日目は、JFEエンジニアリング（株）で水道管製造ラインの視察確認を行った。

第2日目は、はじめに議題(1)正副委員長の互選を行い委員長に今井茂樹東京都水道局建設部長、副委員長に宮内潔大阪市水道局給配水統括担当部長が満場一致で選任された。

次に報告事項(1)第75回検査事業委員会議事録、(2)平成19年度検査事業決算見込み、(3)平成21年度検査事業予算（案）、(4)JIS 製品認証業務の進捗状況、(5)検査工場の協力工場に関する取扱い要領の一部改正について逐次報告を行い、異議なく了承された。

続いて、議題(2)日本水道協会水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法検査施行要項の改正、(3)日本水道協会水道用品検査規程の改正、(4)日本水道協会検査工場の登録に関する規則の改正、(5)水道用仕様書品の検査に関する規則の改正、(6)日本水道協会国外製造品の検査に関する規則の改正、(7)日本水道協会発行証明書発行方式改正に伴う状況調査票（案）について、慎重に審議を行い了承された。



JIS マーク表示制度認証授与式（10月21日）

第32回 JIS 製品認証業務判定委員会において、各申請者の初回認証判定について、適合と判定され、このうち、青島兼工業機械有限公司の JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第92回 機械・電気・計装専門委員会（10月22、23日）

本委員会で作成中の「水道設備における環境保全取組事例集」（仮称）について、タイトル名を「水道施設におけるエネルギー対策の実際」に変更した。また、「水道施設におけるエネルギー対策の実際」原稿の構成や記述内容についての審議を行った。

水道技術管理者研修会（10月23日～10月24日）

180名の参加を得て、水道事業の現状と課題～安心・安全をテーマに～、水道事業の新しい調達方式―品質の向上とコンプライアンス―、水道水質管理に関する最近の動向について研修が実施された。

本研修会では毎年特別講師として各界の著名な方に講演を依頼しており、今回は野球評論家の佐々木信也氏が「成功する監督とリーダーシップ」と題して講演を行った。



第25回 IWA 日本国内委員会（10月24日）

初めに、人事異動に伴う委員の交代が承認された。

次に、9月に開催された第6回 IWA 世界水会議・展示会（ウィーン大会）での IWA のビジネスミーティング（理事会、役員会、戦略評議会）について、東京大学の太垣眞一郎教授が IWA 副会長を退任し役員会議メンバーに残留したこと、戦略評議会メンバーの改選の進捗状況などが報告された。続いて、同ウィーン大会の開催成果として日本からの会議参加者数が多く、展示会のジャパンパビリオンも盛況で、日本の取り組みが評価された事などが報告され、さらに開会式での北海道大学渡辺義公特認教授の最優秀功績賞（Award for Outstanding Contribution to Water Management and Science）受賞が報告され、今後も表彰を含めた IWA の活動に積極的に関わっていくことが確認された。また、大会期間中に開催された IWA-ASPIRE 理事会の報告があり、会議の財政管理については慎重に考察することが承認された。

続いて来年開催予定の第3回 IWA-ASPIRE 会議（台湾）について、現在発表論文募集中であること、展示会に日本パビリオンを出展予定であることが報告された。2011年 IWA-ASPIRE 東京会議の組織委員会が委員長を太垣教授、副委員長を東京都から選任するとして8月に発足した事が報告され、会議を成功させる対策が検討された。その一つとして、2011年東京会議に先がける台湾会議に多数の論文発表で協力する事が発案され、積極的に投稿を呼びかけることが承認された。

第30回水道 GLP 認定委員会（10月28日）

堺市上下水道局上水道部配水管理課の認定項目（ハウ素）の拡大について審議を行い、承認された。また、社団法人愛知県薬剤師会生活科学センター（認定番号：JWWA-GLP014）、名古屋市上下水道局技術本部施設部（認定番号：JWWA-GLP015）及び仙台市水道局給水部水質検査課（認定番号：JWWA-GLP016）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

第173回常任理事会（10月28日 於：グランコート名古屋）

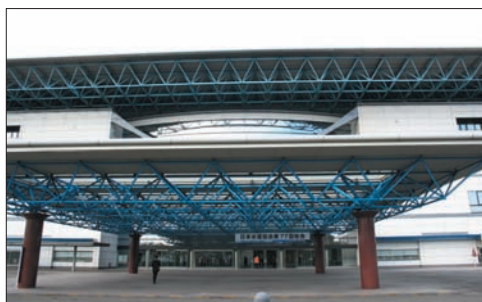
西部名古屋市水道事業管理者から総会開催地代表挨拶の後、本会副会長の高谷岡山市長が議長となり議案の審議に入った。第1号議案「日本水道協会第77回総会の運営について」、第2号議案「次期総会の開催地について」、それぞれ事務局より配付資料に基づき詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。また、次期開催地に内定した澤野堺市上下水道事業管理者より歓迎の挨拶があった。



第77回総会（10月29日～31日 於：ポートメッセなごや）

第1日目（10月29日）

開会式においては、開催地代表として松原名古屋市市長、日本水道協会を代表して本会副会長の高谷岡山市長から挨拶があり、次に厚生労働副大臣（代理：中尾大臣官房審議官）、総務大臣（代理：細田自治財政局官房審議官）、国土交通大臣（代理：矢野土地・水資源局水資源計画課長）、環境大臣（代理：川崎水・大気環境局水環境課長）、愛知県知事（代理：舟橋健康福祉部健康担当局長）、小島名古屋市会副議長、幡掛日本水道工業団体連合会会長



総会会場：ポートメッセなごや
（名古屋市国際展示場）



開会式



日本水道工業団体連合会水道展



歓迎挨拶：
松原名古屋市長



開会挨拶：副会長
高谷岡山市長



厚生労働副大臣祝辞：
中尾大臣官房審議官



総務大臣祝辞：細田
自治財政局官房審議官



国土交通大臣祝辞：
矢野土地・水資源局
水資源計画課長



環境大臣祝辞：
川崎水・大気環境局
水環境課長



愛知県知事祝辞：舟橋
健康福祉部担当局長



祝辞：小島名古屋
副市長



祝辞：幡掛日本水道
工業団体連合会会長



事務常設調査委員長報告：
川副横浜市水道局副局長



工務常設調査委員長報告：
尾崎東京都水道局技監



衛生常設調査委員長報告：
高橋仙台市水道局給水部
水質検査課長



議長：西部名古屋
水道事業管理者



監査報告：有村氏



次期総会開催地挨拶：
澤野堺市上下水道事業
管理者



閉会挨拶：
御園専務理事



厚生労働大臣表彰



日本水道協会会長表彰

から来賓祝辞があった。

続いて表彰式が行われ、はじめに厚生労働大臣表彰として中尾大臣官房審議官より金子實氏外75名の受章者に対し表彰状と記念品が贈られた。これに対して受章者を代表して、筒井章允氏より謝辞が述べられた。

次に、日本水道協会感謝状が本会副会長の高谷岡山市長より山村前厚生労働省健康局水道課長に贈呈された。

続いて日本水道協会会長表彰が行われ、副会長の高谷岡山市長から功労賞として滝沢優憲氏外13名、特別賞として各務誠氏外123名、有効賞として佐藤親房氏外4名、勤続賞として森山孝篤氏外894名に対して表彰状と記念品が贈られた。これに対して全会長表彰受賞者を代表し、森一政氏から謝辞が述べられた。

昼食休憩後、定款の定めにより開催地の正会員代表として西部名古屋市水道事業管理者が議長となり議事に入った。

初めに会務報告として、事務局より平成19年度本会事業の活動状況について、配布資料に基づく詳細な説明があった。

続いて、常設調査委員長報告として、事務常設調査委員長報告が川副横浜市水道局副局長より、工務常設調査委員長報告が尾崎東京都水道局技監より、衛生常設調査委員長報告が高橋仙台市水道局給水部水質検査課長より、それぞれ報告があった。

次に、第1号議案「平成19年度日本水道協会会計決算の認定」について、事務局より提出資料に基づく詳細な説明があり、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。なお、事務局の説明に続き、監事を代表して有村隼虎氏から監査報告があった。続いて第2号議案「日本水道協会大阪会館の改築」、第3号議案「平成21年度日本水道協会会計予算」についても事務局より説明があり、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

休憩の後、会員提出問題討議に入り、補助関係として問題1「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題2「水道施設の再構築事業に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題3「水道施設の安全強化のための施設整備に対する財政支援について」が一括上程され、厚生労働省の意見発表の後、討議の結果、関係当局に陳情す

ることと決定した。

次に災害対策として、問題4「水道施設の震災対策等に対する行財政支援について」が上程され、厚生労働省の意見発表の後、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。引き続き、起債・繰出関係として、問題5「起債融資条件等の改善及び一般会計出資債に係る地方交付税措置の拡充について」、問題6「公営企業借換債制度の拡充及び条件緩和並びに政府資金の借換制度創設等について」が一括上程され、総務省、公営企業等金融機構の意見発表の後、討議の結果、関係当局に陳情することとした。

第2日目（10月30日）

前日に引き続き会員提出問題の討議が行われ、水源関係として、問題7「ダム等の水源施設の開発促進について」、問題8「ダムの建設に関する事業費の圧縮等について」、水質関係として、問題9「水道水源の水質保全対策の強化について」、その他として、問題10「地下水等による専用水道の利用に係る法整備及び対応について」が順次上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した。

問題7～10については、厚生労働省、国土交通省、環境省、水資源機構より関連する問題について意見発表があった。

また、緊急動議として「水道事業の持続的発展と水道産業活性化、国際化対応について」が提出され、事務局より説明があった。

次に、次期総会開催地の決定について、定時総会の開催地は、定款の定めにより、あらかじめ前年の総会で定めることとなっているため、第173回常任理事会に諮った結果、堺市と内定していただいていること等を事務局から報告し、報告のとおり満場一致で堺市に決定した。続いて、次期総会開催地を代表して澤野堺市上下水道事業管理者より挨拶があった。

閉会式に入り、日本水道協会を代表して御園専務理事より挨拶があった。

なお、午後には、「水道の持続的発展と教育」をテーマにシンポジウムを開催した。



シンポジウム：水道の持続的発展と教育

第3日目（10月31日）

事務局設定3コースに分かれ、名古屋市の水道施設等を視察した。

第625回抄録委員会（11月6日）

本誌2月号に掲載する外国文献の抄録内容及び1月号に掲載する海外文献目録の和文題名について審議した。

第141回水道技術管理者協議会（11月6日・7日 於：山形市）

山形市水道事業の概要について説明を受けた後に、震災対応等特別調査委員会の審議状況、指定給水装置工事事業者研修・講習に関する実施調査結果（中間報告）、第1回ISO/TC224上水道国内対策委員会、水道広域化検討の手引き、節水対策プログラム等の修正についての報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

第2日目は、山形市水道部松原浄水場において視察を行った。

第870回会誌編集委員会

本誌12月号、1月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第3回残留塩素管理に関する調査専門委員会（11月12日）

低濃度遊離残留塩素における従属栄養細菌等の状況、及び消毒効果の状況、並びに残留塩素測定器の精度確認結果について審議した。

第61回中小規模水道問題協議会（11月13日）

情報交換事項として①長期間の無届使用にかかる水道料金の取り扱いについて、②濁水等による水道使用者からの苦情に対する対応について、③過去の布設替工事において埋設処分した管の撤去費用について、④インターネットを利用したお客様サービスについて、それぞれ情報交換を行った。



第222回衛生常設調査委員会（11月14日）

①厚生労働省滝村管理官から、今後の水質基準の見直しの方向性などについて説明を受けた。

②残留塩素管理に関する調査専門委員会から、残留塩素低減時の消毒効果確認結果や、残留塩素測定器の定量下限値などについて報告を受けた。

③水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会から、現在検討中の水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA



K 143) の浸出試験結果等について報告を受けた。

④水質試験方法等調査専門委員会から、シアンの分析方法の検討状況について中間報告を受け、審議を行った。

<訂正>

水道料金表（平成20年4月1日現在）につきまして誤記がございましたので、下記の通り訂正いたします。

頁	都市名	正	誤
217	郡山市	現行料金実施期日（算定期間） <u>6.6.1</u> （～10.3） 料金改定率（家事用） <u>27.5</u> （27.5）	現行料金実施期日（算定期間） <u>9.6.1</u> （～10.3） 料金改定率平均（家事用） <u>2.0</u> （2.0）
240	狭山市	口径別基本料金 口径150 <u>(C)</u> ※ (C)は「管理者が別に定める」を表す省略記号	口径別基本料金 口径150 <u>275,000</u>